

中村正人



うるま市が輝く未来あるまちづくり

令和3年4月25日、うるま市選挙開票日。うるま市に新たなリーダーが誕生しました。
うるま市をよりよいまちにしていけるため、中村正人市長による新たな市政運営が始まります。



- ① 4月17日の初登庁では正面玄関に多くの職員が集まり、中村市長を出迎えた
- ② 職員から歓迎の花束を受け取る中村市長
- ③ 盛大な歓迎を受ける中村市長
- ④ 市長就任式で職員へ訓示を述べた

私たちをとりまく環境に目を向けますと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が地域経済に大きな影響を与えており、市民や市内事業者の皆さまが、様々な不安を抱えている状況にあります。コロナ禍終息の兆しがまだ見えない中において、市民の命と暮らしを守ることを最優先とし、全市民への円滑な新型コロナウイルスワクチン接種の実現や、多種多様なコロナ対策を進め、市民の皆さまが安心して過ごせる体制づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

また、地域経済の落ち込みが特に深刻で困難な状況にある飲食業・社交業・観光業・卸業者・多種多業の皆様に対しては、早期の緊急経済対策をすすめ、医療・保育・介護・障がい者施設及び従事者への支援についても取り組んでまいります。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策や災害・防災など市民の命に係わる重要な課題については、新たに危機管理課の設置を検討し、早期に対処してまいりたいと考えております。

市政運営については、行財政改革を推進し自主財源の確保に努め、業務委託、PFIの推進、AIの導入により、職員の職場環境整備と併せて、民営化による

PROFILE

中村正人 / なかむらまさと
1965年(昭和40年)3月10日生まれ。56歳。前原高等学校卒。日本文理大学卒。平成10年に旧具志川市議に初当選し、6期22年市議会議員として地域に貢献してきた。
うるま市宇田場在住。

市長就任のご挨拶

この度、私は、多くの市民の信任をいただき、5月15日からうるま市長として、新たに市政運営を担うことになりました。12万5千の市民の皆様の生命と暮らしを預かる職責に身を引き締まる思いであります。

5月14日に勇退されました島袋前市長におかれましては、3期12年にわたり市長を務められ、大幅な失業率の改善、教育・子育て支援の拡大、少子高齢社会に対応した福祉行政の推進、行財政改革による財政基盤の強化など着実に成果を積み上げられ、長年にわたる市政へのご尽力に心から敬意を表したいと思います。

私は、島袋前市長がこれまで築き上げてきたことをしっかりと継承し、さらに「一歩前へ」踏み出すために全力で市政運営に取り組んでまいります。

人件費の削減や市民目線によるサービス向上に努めてまいります。

教育福祉の向上では、学力向上・不登校対策・待機児童解消など子ども達に関する課題に積極的に取り組んでまいります。

経済政策では、第一次産業の強化を行い、すべての産業の育成に努め、所得の向上や失業率の更なる改善、コロナの影響による雇止め対策を検討してまいります。

多様化する時代の中で行政課題は山積しておりますが、市民の皆さまにそれら課題解決に向けた行財政改革の重要性をより一層ご理解いただきながら、現場主義で誠心誠意取り組んでまいります。

私は向こう4年間の中で、近隣の市町村と連携しながら、住みよいまちうるま市を実現するため「うるま市はひとつ市民協働のまちづくり」第二章を掲げ、職員と一体となって頑張ってまいります。

市民の皆様はじめ、市議会のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。市長就任のごあいさついたします。

うるま市長 中村正人